

先輩指導主事からのメッセージ

所属 教育委員会事務局 義務教育課

職名 主任指導主事兼主幹（中学校教育担当）

氏名 村田 かおり



いつも元気に、前向きに仕事することを意識して！

なぜ、指導主事に？今振り返ると

小学校教師として学校現場で15年間勤めた後、指導主事として事務局に勤務し早や9年目になります。この職務に就いて、先ず痛切に感じたことは今までの考え方や見方では通用しないということでした。どういうことかと言うと、今までの物事の捉え方が一方向だけ、つまり自分の経験に基づいた狭い世界での視点であると思い知らされたのです。

しかし、今は、自分の勤めた地域や兵庫県内のみならず国とも関わりがある中で、大袈裟に言えば教育全般を視点に入れて対応しています。また、接する人も広範囲になり、自分にとっては全く未知の領域の方々との関わりも生まれました。

正直、恥をかくこともあり、戸惑いや失敗の日々ではありますが、一方では、広い視点から物事を眺める考え方が持てたり、新しい知識を会得出来たり、或いは、思いもかけない方々との交流も生まれ、楽しいことも一杯経験出来ています。

今思うと、正直流れに任せて、指導主事となりましたが、自分自身を大きく成長する機会になったと考えます。

義務教育課の仕事内容は？

県教育委員会事務局義務教育課での仕事内容は、初任者研修をはじめとする研修、わくわくオーケストラ教室やトライやる・ウィークの事業、教科書事務、教育課程関連の企画・運営等の仕事があります。言い換えれば、学校現場で実施している事業の発信源ともいえます。

事務局と学校現場との違いは、事務局は、企画・内容とか予算面とか、事務系の仕事を中心に、学校現場は、それらに基づき子供と関わっていることと思います。自分がその任にふさわしいのか、自信も乏しいのは事実ですが、この職を選んだのは私自身。だから、与えられた職務を精一杯がんばろうと肝に銘じて仕事しています。

やりがい、達成感、苦勞したこと等

正直に言って、仕事をする上において精神的、体力的にややハードであることもあります。それでも、何らかの解決策や答えを見つけて、一步一步前に進んで行かなければなりません。

そんな時に支えとなるのは、一つの事業を終えた時に関わって頂いた多くの方々の笑顔です。その笑顔が、どれほど私の達成感を満たせて頂いたか分かりません。と同時に、物事は多くの方々のご支援ご協力があって初めてできるものだということを教えて頂いたと思っています。

指導主事を受験する皆さんへ

場は学校であろうが教育行政であろうが、或いは、立場がどうであれ、見つめる対象は、常に、子供たちであると言うことだと思います。子供たちにとって、これはいい事なのか悪い事なのか、その判断基準は必ず子ども側に立って決めるべきではないかと私は思っています。

その意味でも、行政の場に学校現場経験者が存在する必要性が出てくるのではないかと考えます。

これまでの主な配属先

H 1. 4	小学校教諭	採用	H16. 4	西播磨教育事務所	情報教育専門推進員
H18. 4	教育企画課	指導主事	H20. 4	義務教育課	指導主事
H27. 4	義務教育課	主任指導主事主幹			(中学校教育担当)